

**令和5年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和5年12月
海老名市立海西中学校**

令和5年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

- (1)教科に関する調査【国語、算数・数学、英語(中学校3学年のみ)】

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

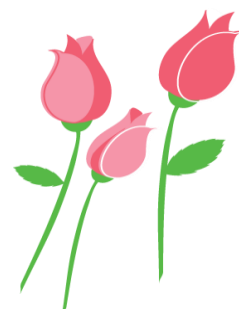
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和5年4月18日(火)

※中学校英語「話すこと」調査及び児童生徒質問紙調査(一部)について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的をもってインタビューをする場面において、知りたい情報に合わせて質問する内容を検討したり、聞き取ったことを基に目的に沿って自分の考えをまとめたりすることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて複数の文章を読む場面において、行為、心情を表す語句について理解したり、表現の効果について考えたり、叙述を基に捉え要旨を把握したり、文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる。
- ・調べたことなどをレポートにまとめて書く場面において、読み手の立場に立って文章を整えたり、自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書いたりすることができるかどうかをみる。
- ・古典の原文と古典に解釈を加えて現代語で書いた作品とを読み比べる場面において、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読んだり、古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えたりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 「知識及び技能」の「言葉の特徴や使い方に関する事項」に優れています。
事象や行為、心情を表す語句についてよく理解しています。
また、歴史的仮名遣いの「はひふへほ」を「わいうえお」の現代仮名遣いに直すことができます。
- 「思考力・判断力・表現力」の「話すこと・聞くこと」でインタビューの前に準備したメモについて説明したのものとして適切なものを選択する能力に優れています。
目的や場面に応じて質問する内容を検討することができます。

◆課題のある点

- 「思考力・判断力・表現力」の「書くこと」における比較して書くことに努力を要します。
現代語で書かれた「竹取物語」の工夫されている点を古典と比較して書くことに課題があります。文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える力をつける必要があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 文章にまとめて伝えていこうと思う気持ちを持たせる体験的な学習をしていきたいと思えます。求められている文章への根拠をきちんと持ち、書く力をつけていくためにも、継続的な指導が大切だと考えます。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・事象を数・量・図形等に着目して観察したり、事象の特徴を的確に捉えたり、理想化・単純化したり、情報を分類・整理したりすることができるかどうかをみる。
- ・問題解決に向けて解決の方針を立てたり、筋道を立てて考えたり、方針に基づいて解決したり、事象に即して解釈したことを数学的に表現したり、数・式・図・表・グラフなどを活用したり、数学的に表現したことを解釈したり、解決の結果を数学的に表現したりすることができるかどうかをみる。
- ・数学的な結果を解釈したり、必要な情報を選択し判断したり、解決の過程や結果を批判的に考察したり、解決の過程や結果を振り返り評価・改善したり、統合的・発展的に考察したり、事象を多面的に見たりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ることで、事柄が成り立つことをしっかりと説明することができています。
- 四分位範囲の意味や箱ひげ図の読み取り方についてよく理解できています。
- 2直線が平行であることを、三角形の合同を用いて錯角や同位角が等しくなることを根拠に証明することがよくできています。

◆課題のある点

- 度数分布表から累積度数を読み取り、適切な解答をすることに課題がみられます。
- 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がみられます。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 2年次より習熟度別少人数授業を行っていますが、個々の指導の在り方、理解を深めるための指導方法などを研究し、よりよい授業を進めていけるように努めます。
- 知識の習得や計算のスピード、正確性だけを追い求めるのではなく、問題を解決するために、方針を立てたり、筋道を立てて考えることで、より深く学ぶ力が身につくように指導していきます。

中学校 英語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」による実際のコミュニケーションにおいて活用できるかどうかをみる。
- ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 話すことについては、日常会話の中で、相手が求めていることを場面や状況に合うように英語で伝えることは概ねできています。
- 聞くことについては、場面や状況を考え英語を聞き、その情報をもとに適切に聞き取ることが概ねできています。
- 読むことについては、場面や状況から適切にその内容を読み取ることが概ねできています。
- 書くことについては、与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を書くことは6割の生徒ができています。

◆課題のある点

- 話すこと適切な表現を使い、相手に尋ねることが課題としてあげられます。
- 聞くことについては、日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることが課題としてあげられます。
- 読むことについては、表やグラフなどから適切に情報を読み取る力が課題としてあげられます。
- 書くことについては、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書く力が弱いです。

今後の具体的な指導改善のポイント

- インプットの活動（読む、聞く）とアウトプットの活動（書く、話す）をバランスよく取り入れた授業を展開していきます。
- 既習文法事項を帯活動などを通して取り入れながら復習し、定着できるような指導をしていきます。
- 書くことについて、適切なインプットとその量を繰り返し練習し、帯活動などで確認や応用として書く活動を取り組み既習文法の定着や語彙力（正しいスペルで書く力や場面や状況に合う単語を選ぶ力）を向上させていきます。
- 話すことについては、①自分から相手（一方的）、②自分と相手（やり取り）と大きく二つに分けられるが、日常生活のようなやり取りや会話とスピーチや説明のような話す力など授業の中で意図的に話すことの目的や場面を意識した活動を取り入れていくことが大切だと考えます。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 生徒同士で積極的に話し合う活動に取り組むことで、考えを深めたり広げたりしています。
「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」という質問では、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒が 89.9%で、全国平均と比べて+10.2 と非常に高い数値となっています。また「1. 2年生の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいますか」の質問も 89.9% (全国平均+10.7) の生徒が同様の回答をしていることから、3年間で生徒たちに「主体的・対話的」に学ぶことが身につけていると考えられます。

◆本校の課題と思われるところ

- ICT機器を効果的に学習に活用する資質・能力を育成します。
「1. 2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」という質問では、「週1回以上」と答えた生徒が 68.1%で、全国平均-19.4 となっています。各教科を中心に、ICT機器を活用した効果的授業法の研究と、同時に生徒にとっての「便利な学習ツール」としての研究を進めていきます。

生活について

◆本校のよかったところ

- 自己有用感と他者への思いやりの気持ちを持っています。
「自分にはよいところがあると思いますか」という質問では、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒が 87.0%(全国平均+7.0)、また、「人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問は 93.5%(全国平均+5.4)で、家庭・地域・学校が「人間関係づくり」を意識して取り組み、その成果として「自分にも他人にも優しい気持ち」を持つことができているのだと考えます。

◆本校の課題と思われるところ

- 毎日同じくらいの時間に就寝するように意識しましょう。
「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」という質問に「している・どちらかといえばしている」と回答した生徒が 68.8%で、全国平均-9.2 となっています。「起床時間」や「朝食」の項目は大きな差異は見られない中、就寝時刻のみ不規則になっているようです。様々な理由があると思いますが、起床時間から逆算して十分な睡眠時間を確保できるようご家庭でのご指導をお願いいたします。

今後の具体的な取組について

- これまで大切にしてきた、学校スローガン『信頼』、海西中学校の心『あいさつ・時間・約束・思いやり』を土台として継承しながら、より良い成長の場としての教育活動を目指します。
- 生徒が学習活動の中でICT機器を効果的に活用できるよう、ICT機器を利用した授業づくりをさらに研究推進します。

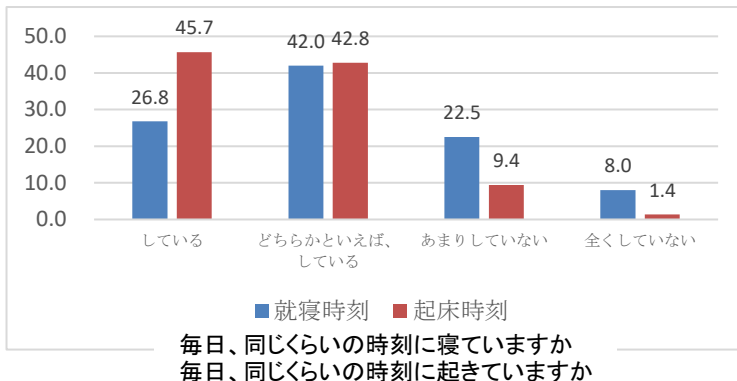
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1

適切な睡眠時間の確保をしましょう。

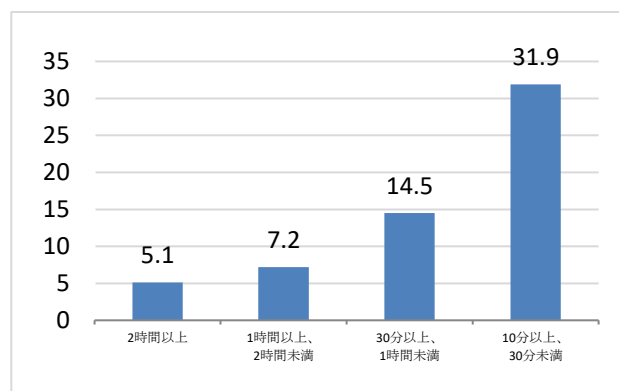
安定した就寝時刻と起床時間を確保することで、睡眠の質を向上させ、心身ともに安定した学校生が送れます。



2

読書の時間を作りましょう。

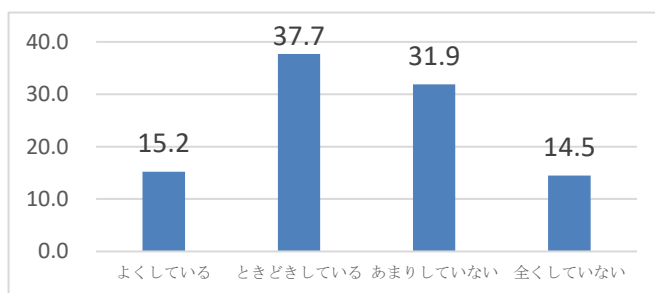
朝読書以外にも、本を読む時間を作りましょう。コミュニケーションのスキルアップや、リラックス効果が期待できます。家でスマホを眺めている時間のうち、30分を目標に本を読む時間に変えてみましょう。



3

自分で計画を立てて学習をしましょう。

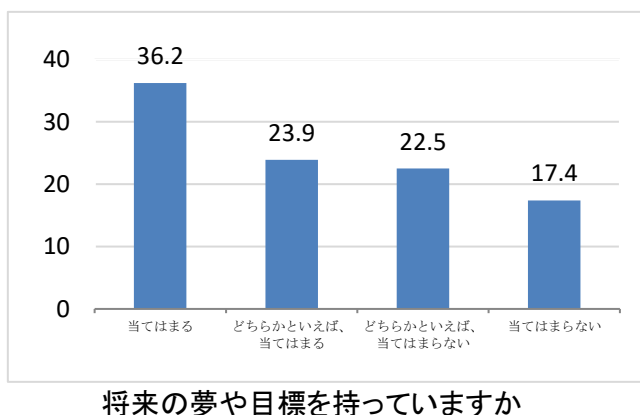
授業の内容を定着させるには家庭での学習が大切になります。自分なりに計画を立て、実行し、振り返ることで学習内容をより深く理解することができます。



4

将来の夢や目標についてともに語りましょう。

どんな大人になりたいか、どんな人生を送りたいのか。生徒たちが考えるときに身近な大人がともに考え語り合うことが、大きなサポートになります。



文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 指導改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

2. 英語の学習指導の改善・充実

- 海外の学校等との国際交流や協働的な学習の推進
- 科学技術人材の育成

3. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 国費による学校 DX 戦略アドバイザーの派遣等による支援
- 切れ目のない研修コンテンツの提供

4. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

5. 学校における指導・運営体制の充実

- 小学校における35人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等のための教職員定数の改善
- 教員業務支援員や学習指導員等の支援スタッフの充実

6. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和5年度調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



**多様性を受け止め、多様性を生かし、
えびなっ子ひとりひとりの
学びを保障する教育をめざします**



3つの重点

- ①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③特色ある学校づくりの推進

①授業改善の実践

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 今日的な教育課題であるプログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践します
- 学校ICTを有効に活用します
- 市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います(予算確保や環境整備、教職員向けの研修など)

【市の結果についての問い合わせ先】
電話 046-235-4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係